

会員さんに聞きました！「商工会議所の活用法」

当所では、会員企業の経営力向上に向けた支援の一環として補助金・助成金等の情報提供や申請書等の作成のサポートなどを行っています。平成28年度のものづくり関連の補助金等の指導実績については、20件の採択を受けました。

今回は、その中で「革新的なものづくり・商業・サービス開発支援補助金」の採択を受けた(株)HIVECの事例を紹介します。

補助金申請サポート事例 (株)HIVECの場合

■激化する開発競争 炭素繊維複合材料3Dプリンター導入へ



株式会社 HIVEC
代表取締役社長 清水隆司

当社は、自動車等輸送機器の設計受託開発業務を主体とした会社として、2003年に設立され、皆様のご支援のお陰で漸く一人立ち出来る会社になって来ました。

しかし、自動車産業界中心に、IoT・AIの急速な進展に伴い、開発競争の激化に加え、デジタル技術を活用した技術革新が世界に広がって来ており、2017年は大きな変換点になると言われています。

これらの環境変化への対応のためには、一企業単独でなく、地域企業の皆様と連携したものづくり事業への参入等ビジネスモデルの再構築が急務となって来ました。

この様な中、平成28年7月に開催された「ひろしまアディティブ・マニファクチャリング研究会」への参加、その後日本で初の本格的な炭素繊維複合材料3Dプリンター発売の情報等を得て、急遽3Dプリンターを導入するため補助金を申請する事となりました。



炭素繊維3Dプリンター
(The Mark X)



▲自動車エンジン部品
工作機械部品▶

- ・複数の長繊維ファイバーが使用可能
(カーボン、グラスファイバー、ケブラー)
- ・強度：ABSの20倍以上(アルミニウム相当)

■商工会議所と産総研に支援を求め

補助金申請に当たり、東広島商工会議所に相談した結果、今回は平成28年度補正予算という厳しい条件のため、「経営力向上計画」の申請も必要と指摘されました。

そこで、東広島商工会議所及び産業総合研究所中国センターのご支援及び的確な指導を頂き、無事認可

び採択された次第です。

中国地方で初となる炭素繊維複合材料3Dプリンターを導入する事で、産学官連携の元、皆様と一緒に国道375沿いを「3Dプリンターのメッカ」にする夢を実現していきたいと考えています。

■担当者からひとこと



東広島商工会議所
中小企業支援室
福原新一郎コーディネーター

清水社長は明確なビジョンをお持ちでした。それを3年間の年次に振り分け、補助金申請の内容や設備投資計画との整合をとって経営力向上計画に反映するよう指導しました。

申請書は同社の担当者が作成しましたが、社長のビジョンが反映されたものになるよう、あらすじづくりを指導しました。強調すべき点などの採用されやすくなるポイントは産総研の協力を仰ぎました。

問合 中小企業支援室

☎ 082-42010303